

観光を基軸にした 交流人口創出プロジェクト

取組に至る背景・事業の目的

- 佐久地域には全国的に高い知名度とブランド力を誇る国際的避暑地・軽井沢高原が存在し、年間延べ780万人(H24年)が来訪している。
- 来訪者等が何に対し興味関心を示しているのかを正確に把握しつつ、軽井沢高原と佐久地域の豊富な観光資源を結びつけ地域内での周遊を促すことで交流人口を創出する。



【調査結果を基に開催されたワークショップ】

事業内容

- 平成24年度に観光意向調査及び観光動態調査を実施するとともに、ワークショップを行った。25年度はデータ分析から具体的なアクションにつなげていくためのプロジェクトを実施
- 軽井沢町内の別荘所有者へのアンケート及びグループインタビューを実施し、結果報告会に合わせてワークショップを開催
- ワークショップの意見も参考に、佐久地域の事業者向けの「交流人口創出指南書」として冊子『マイニング・ザ・マイナーズ～「可能性の周辺」には「可能性」がある～』を制作・配布
- 北陸圏及び東京で観光プロモーションを実施



【佐久広域広報54号にて冊子制作の周知】

事業効果

- 「交流人口創出指南書」を佐久地域の商工業者、観光協会、ホテル、飲食店、行政などに配布・説明することで、地域内でのデータの共有、官民の連携が進んだ。また、データが明らかになることで、その周辺にあるビジネスチャンスを活かしたチャレンジが促進されることが期待できる。
- データなどから導き出された地域の魅力（山々に囲まれた自然環境、星空の美しさ、健康的な暮らし等）を首都圏及び北陸圏でのプロモーションを通じて発信した。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 交流人口創出指南書「マイニング・ザ・マイナーズ」は、様々な主体に対して、直接趣旨を説明し行動を促すことに重点を置きながら配布を行っている。
- 平成27年には、3月に北陸新幹線（長野経由）金沢延伸、6月は川上村出身の油井宇宙飛行士がソユーズで宇宙へ、8月は佐久鉄道開業100周年、秋には日本三選星名所に選ばれた野辺山高原での星空サミット、11月に小海線全線開通80周年を迎えるなど多くのイベントを控えており、これを好機到来ととらえ、さらなる観光資源の整備、情報発信を進めていく。

【選定のポイント】

2か年に渡って実施した観光意向調査等の結果報告会に合わせてワークショップを実施し、導き出されたヒントを事業者向けに「交流人口創出指南書」として分かりやすくまとめた。

また、調査から導き出された佐久地域の魅力（自然環境、星空の美しさ、健康）を活かし、東京及び北陸でPRを行った。

団体名 佐久広域連合
 連絡先 0267-62-7721
 ホームページ <http://www.areasaku.or.jp/>
 メールアドレス sakukouiki@areasaku.or.jp

事業タイプ ソフト事業
 事業費 2,929,479円
 支援金額 2,336,000円